

市民フォーラムおおさか

(情報共有推進研究G)川添博史

その前に 市民フォーラムおおさか・・・とは
コミュニティにおけるコミュニケーションを増やし、広げ、質を高めていくためのフォーラムを大阪市内各所で実施し、地域やコミュニティを基盤とした「コミュニティ・コミュニケーション」の実践を通して、安心・安全で自己実現できる地域コミュニティづくりを目指し、これを市民フォーラムおおさかと名づけて開催している。

上記の課題として・・・

- ①市民フォーラムおおさか、への参加者が減になっている。
市民の誰でもが自由に参加できるポリシーであるが、近年は同じメンバーが多くなり、いわゆる蛸壺現象が見られるようになった。このことはコミュニティを重んじることで、対人関係に慣れていない新しい市民の参加が阻害されている感も否めない。
- ②他のフォーラムの活動内容を知らない。あるいは知らされていない。理解していない。見えない。などなど、が考えられる
- ③各研究会・世話人会も横断的に繋がっていないので、なにをしているかわからない。その他、いろいろあるが

「情報共有推進研究 G」の立ち上げ

市民フォーラムおおさか09では情報の共有を擁立することで市民フォーラム参加メンバーを増やすことを目的に(情報共有推進研究G)を立ち上げ、具体的にはITC(SNSやメーリングなど)を活用した情報伝達や顔の見える意見交換の場をつくり、人の細やかな感性(5感)を基本としたコミュニケーションを達成する。そのための課題解決など適切に話し合い有用なツール開発と人材育成を目的とした研究会とする。

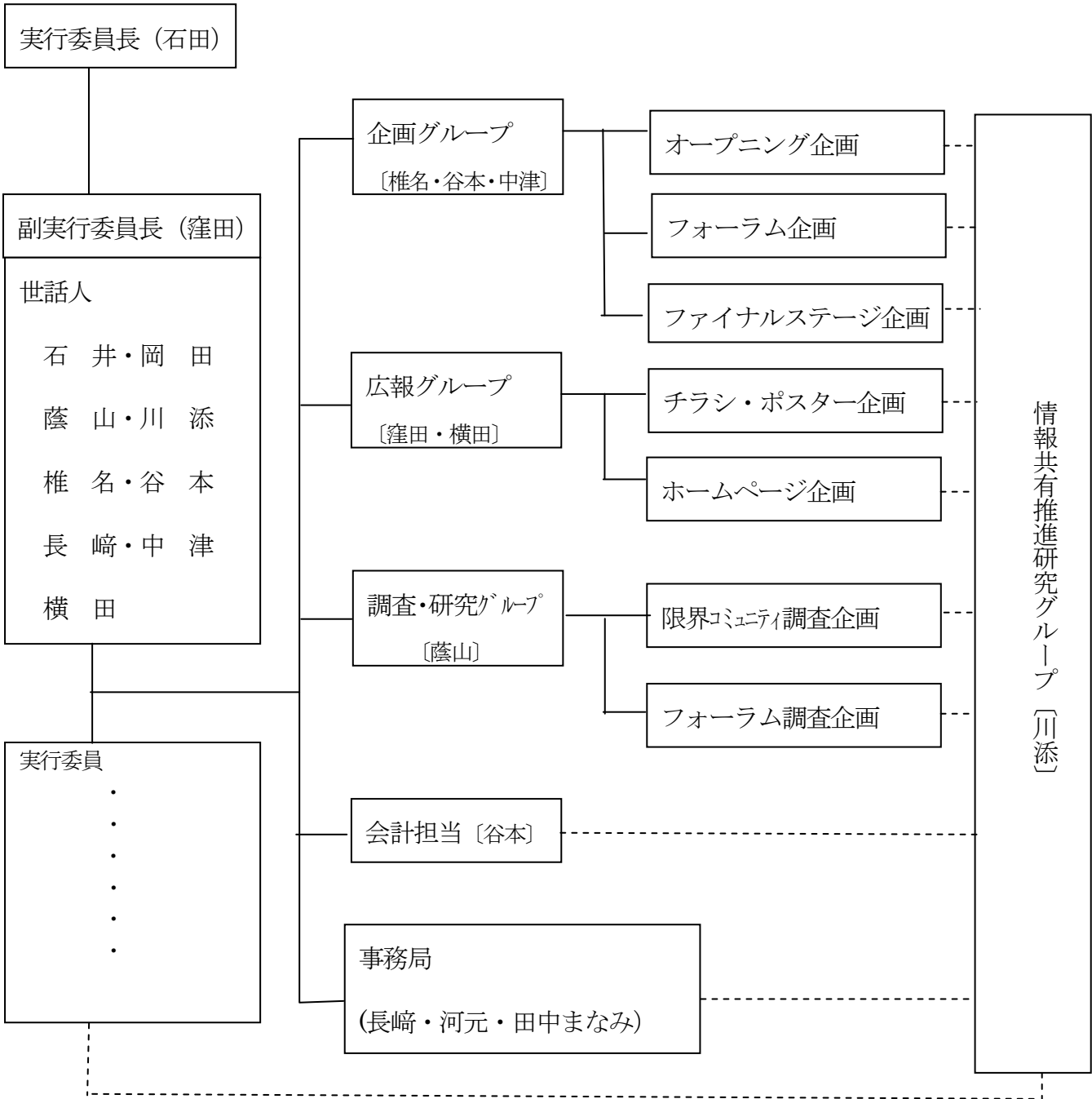
副題として・・・「未来の共有」を掲げる

検討事項 情報共有推進研究Gの役割・位置付け

今年度予定

- ① メーリングリストの見直し
- ② 新メーリングの作成・運用
- ③ 全フォーラムのフォルダーづくり
- ④ 全フォーラムの内容を全員が閲覧できるようにする
- ⑤ 大阪市のホームページにリンクさせる

市民フォーラムおおさか09実行委員会「体制」



※情報共有推進研究グループ（09年度から新設）

市民フォーラムおおさか09では有用な情報の共有を擁立することで市民フォーラム参加メンバーを増やすことを目的に（情報共有推進研究会）を立ち上げ、具体的にはICT（SNSやメール・地図など）を活用した情報伝達や顔の見える意見交換の場をつくり、人の細やかな感性（5感）を基本としたコミュニケーションを達成する。そのための課題解決など適切に話し合い有用なツール開発と人材育成を目的とした研究会とする。